

豊かなセカンドライフを送るために －お金について、もう一度考える－



金融経済教育推進機構 経営戦略部経営企画課長

岩淵 仁志 (いわぶち ひとし)

1991年慶応義塾大学法学部卒業、同年日本銀行入行、
2024年7月より現職

内閣府の調査によれば、高齢者の6割以上が経済面での不安を抱えており、具体的には、「自分や家族の医療・介護の費用」「転居や有料老人ホームへの入居費用」等が挙げられている。また、「今後の生活の備えとして貯蓄額が不足している」と思う方も5割を超えている。高齢期には、就業状況や健康状態、世帯の構成など、生活を取り巻く環境は大きく変化するが、これらの変化には、お金に関する悩みも様々な形でつきまとう。

こうした中、金融経済教育推進機構（J-FLEC）が2024年4月に設立され、1周年を迎えた。官民一体で設立された金融庁所管の認可法人として、シニア層を含む全世代の一人ひとりが、より自立的に安心して豊かな生活を実現できるよう、全国にお金に関する「学びの場」を提供している。

J-FLECの主要事業は2つある。第一の柱は、講師派遣/イベント・セミナー事業である。学校、企業、公民館・図書館等の地域コミュニティにおいて無料の出張授業を行っている。講義内容は、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシーを体系的に整理した「金融リテラシー・マップ」に沿っている。例えば、50代以上のベテラン社会人向けには定年退職後の生活を見据えた知識、60代以上のシニア向けにはセカンドライフを有意義で快適なものとするための知識を幅広く伝える。

そして、地方自治体や大学、金融機関といった多様な関係者と連携しつつ、全国の公民館やショッピングモール、イベント会場等で、お金に関する無料啓発イベントやセミナーを開催している。

第二の柱は、個人の方を対象にした個別相談事業である。お金に関する悩みを気軽に相談し、継続的に良質なアドバイスを受けられる環境を整備するため、有効な資格と一定の実務経験を有する個人を中立・公正な「J-FLEC認定アドバイザー」として審査し認定している。J-FLEC認定ア

ドバイザーについては、所在地、年代、保有資格、得意分野等をJ-FLEC ウェブサイトで公表している。

個別相談事業は大きく2つあり、第一に、J-FLEC相談員（J-FLEC認定アドバイザーのうち資格を有する方）による電話・対面・オンラインの個別相談（無料）、第二に、クーポン対象事業者（J-FLEC認定アドバイザーのうち研修を受けた希望者）による有料の個別相談の利用者に対する電子クーポン（相談料の80%を補助）の配布である。こうした個別相談をきっかけに、実際に自分自身が取るべき具体的な行動について理解を深めていただきたい。

J-FLECのキャッチフレーズは「お金の知識を あなたの力に」である。

金融リテラシーの向上は、単に知識を習得するにとどまらず、その知識を適切な判断や行動に結びつけられるようになることを意味している。家計管理や資産形成、保険、ローン、税金、年金など、お金に関する悩みは幅広く、さらにライフステージを経て変化する。人生100年時代を豊かに過ごすには、心身ともに健康である「健康寿命」と、老後の生活を維持できるための「資産寿命」の両方を延ばすのが理想である。退職やセカンドライフを迎える、あるいは迎えた方こそ、改めてお金について学び直す機会を持っていただきたい。そのためにJ-FLECは、歩みを止めず、お金に関する様々な学びをお手伝いしていくので、是非今後ともJ-FLECの活動に期待していただきたい。



J-FLECロゴマーク



J-FLEC公式HP